

# 日本理化学協会調査部・教育課程検討委員会 アンケート結果報告



日本理科教育大会

期間 令和6年8月7日（木）から9日（金）まで

会場 工学院大学新宿キャンパス

# 報告の流れ

- 序章 調査の概要
- 第1章 具体的な取組の現状
- 第2章 教育課程に関する調査結果
- 第3章 先生方の思い



# 報告の流れ

- 序章 調査の概要
- 第1章 具体的な取組の現状
- 第2章 教育課程に関する調査結果
- 第3章 先生方の思い



# 調査の概要



## 内容

質問項目 57

17までは回答者に関する質問項目

45以降は教育課程に関する質問項目

- [1] 探究
- [2] 人材育成
- [3] 遠隔授業
- [4] 個別最適な学びと、協働的な学びの実現
- [5] 生成AIの活用

回答数 7月16日時点

288名

実施時期

令和5年6月15日から7月16日

## 日本理化学協会の活動の目的

高等学校における理科教育の振興を図り，合わせて会員の研修を深めて，資質の向上を図る。また，小学校・中学校・高等学校・大学の連携を密にして，わが国における理科教育の充実発展を目指す。

## 日本理化学協会調査について

協会の目的に沿って理科教育の現況を調査し，理科教育のさらなる発展を目的として実施

令和5年度調査で行った「探究」「生成AIの活用」については継続

## アンケートの結果について

8月の全国大会で発表するとともに，文部科学省等行政機関に，意見を反映させるために報告

## 1～17 回答者に関する質問項目

### 1 ご自身の勤務校の 所在する都道府県名をご記入ください。

都道府県名	回答数	都道府県名	回答数	都道府県名	回答数
静岡県	40	熊本県	9	京都府	2
東京都	40	香川県	8	神奈川県	2
富山県	18	高知県	8	兵庫県	2
大分県	16	秋田県	8	北海道	2
奈良県	16	栃木県	8	沖縄県	1
広島県	15	大阪府	7	宮城県	1
滋賀県	15	千葉県	6	群馬県	1
岩手県	13	岡山県	4	山口県	1
山梨県	12	島根県	4	新潟県	1
佐賀県	11	鹿児島県	3	鳥取県	1
茨城県	10	愛知県	2	徳島県	1

### 6 ご自身の勤務校の設置者をお答えください。

設置	回答数	割合 (%)
① 国立	6	2.1%
② 公立	258	89.6%
③ 私立	23	8.0%
④ その他	1	0.3%

### 6 ご自身の専門科目についてお答えください。

科目	人	割合 (%)
物理	77	26.7
化学	139	48.3
生物	57	19.8
地学	10	3.5
その他	5	1.7

### 8 ご自身の年齢についてお答えください。

年齢	人	割合 (%)
① 29歳以下	27	9.4
② 30～39歳	73	25.3
③ 40～49歳	67	23.3
④ 50～59歳	79	27.4
⑤ 60歳以上	42	14.6

### 9 ご自身の教員歴（他校、他県、講師の期間も含む）についてお答えください。

教員歴	人	割合 (%)
① 9年以下	68	23.6
② 10～19年	75	26.0
③ 20～29年	61	21.2
④ 30年以上	84	29.2

1～17 回答者に関する質問項目

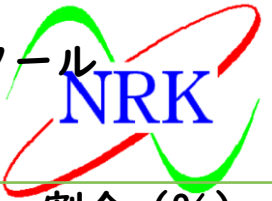
10 ご自身の勤務校の課程をお答えください。

設置	回答数	割合 (%)
① 全日制	240	83.3
② 全日制・定時制併置校	29	10.1
③ 定時制(昼間定時制含む)通信制	18	6.3
④ その他	1	0.3

14 ご自身の勤務校の全校のクラス数についてお答えください。

クラス数	人	割合 (%)
① 30学級以上	12	4.2
② 29～22学級	66	22.9
③ 21～15学級	122	42.4
④ 14～7学級	54	18.8
⑤ 6学級以下	34	11.8

15 ご自身の勤務校のスーパーサイエンススクール(SSH)の状況についてお答えください。



SSHの状況	人	割合 (%)
① 現在指定されている(経過措置校含む)。	34	11.8
② 過去に指定されていた。	6	2.1
③ 指定されていない。	244	84.7
④ これから申請を予定している。	2	0.7%
⑤ 申請を検討している。	2	0.7%

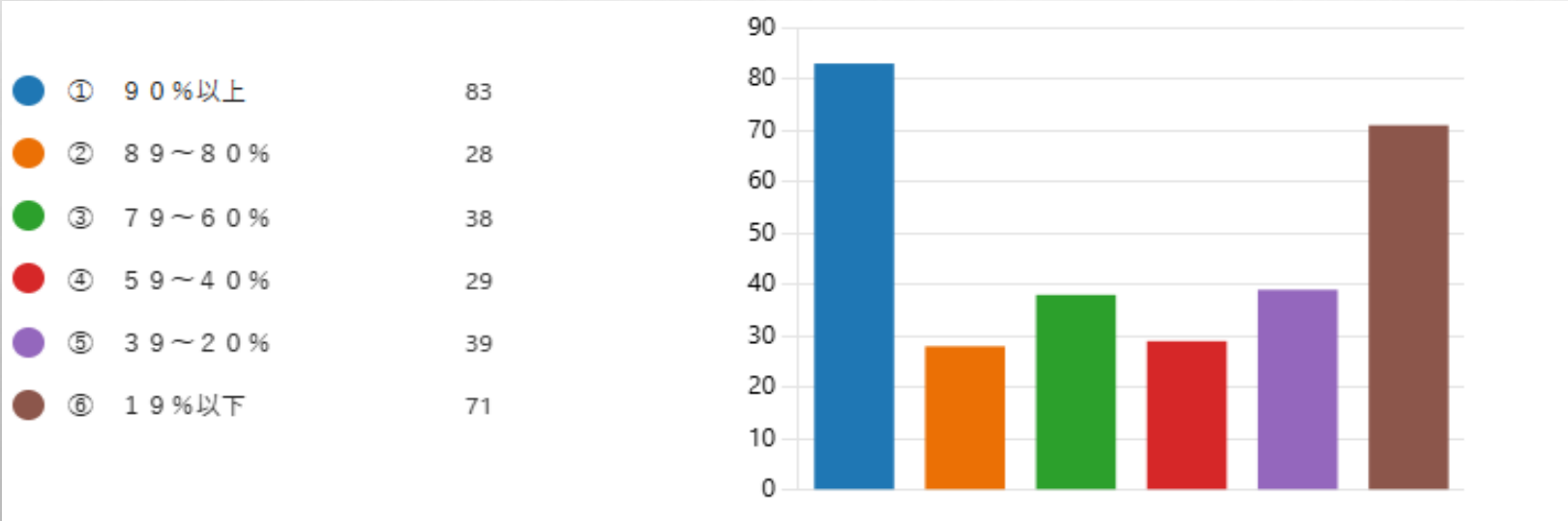
16 ご自身の勤務校のDXハイスクールの状況についてお答えください。

DXハイスクールの状況	人	割合 (%)
① 現在指定されている。	49	17.0
② 指定されていない。	235	81.6
③ これから申請を予定している。	3	1.0
④ 申請を検討している。	1	0.3

# 1～17 回答者に関する質問項目

17 ご自身の勤務校の大学進学率（最も近いもの）をお答えください。

	大学進学率	人	割合 (%)
①	90%以上	83	28.8
②	89～80%	28	9.7
③	79～60%	38	13.2
④	59～40%	29	10.1
⑤	39～20%	39	13.5
⑥	19%以下	71	24.7





# 報告の流れ

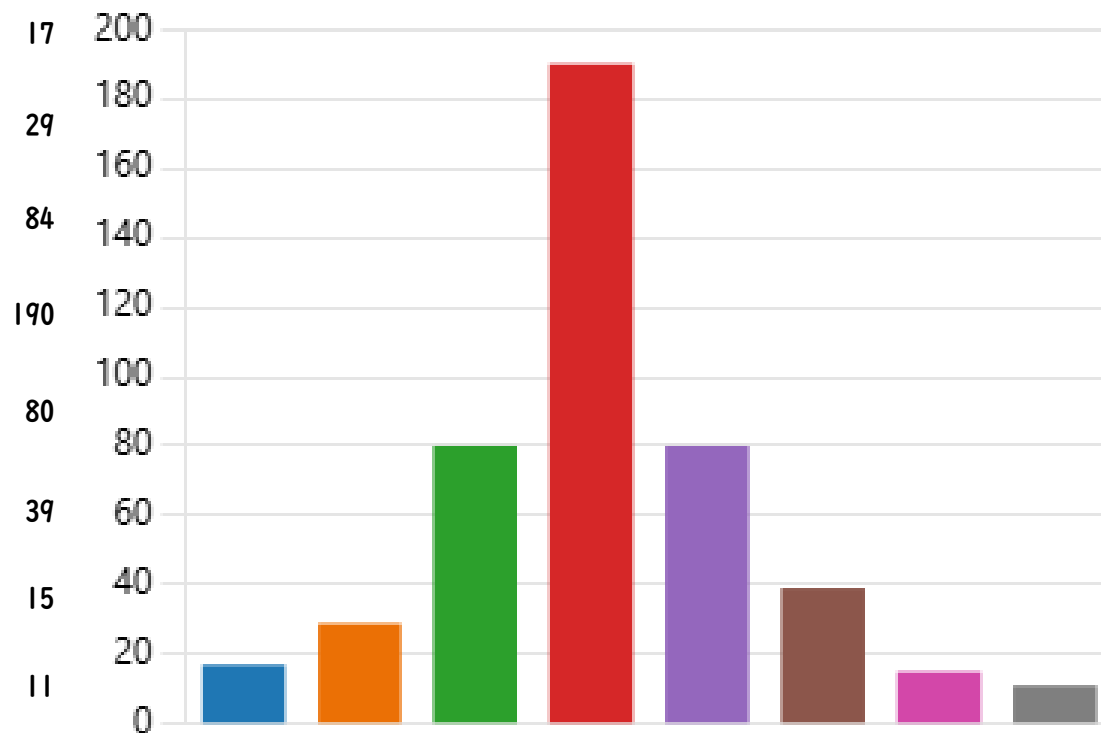
- 序章 調査の概要
- 第1章 具体的な取組の現状
- 第2章 教育課程に関する調査結果
- 第3章 先生方の思い



## 【探究】

18 新学習指導要領の実施にともない重視される「探究活動」について、現在どのような形で取り組んでいますか。当てはまるものを全てお選びください。（複数回答可）

- ① 科目「理数探究基礎」で探究活動に取り組んでいる。
- ② 科目「理数探究」で探究活動に取り組んでいる。
- ③ 主に学校設定科目で学校独自の科目として探究活動に取り組んでいる。
- ④ 主に「総合的な探究の時間」で探究活動に取り組んでいる。
- ⑤ 理科の授業に探究活動の要素（探究の過程）の一部または全てを取り入れている。
- ⑥ 部活動で探究活動に取り組んでいる
- ⑦ 探究活動に取り組んでいない。
- ⑧ その他



## 【探究】

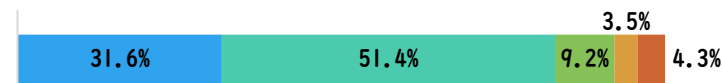
### 20. 理科の授業での「探究活動」の要素（探究の過程）についてお答えください。肯定的な意見の多い項目から示しています。

参考に、国立教育政策研究所が行った平成27年度高等学校学習指導要領実施状況調査報告書の化学基礎における教師質問紙調査では、化学基礎で、「生徒が自分の考えで、予想をしてから観察・実験を行う学習活動を取り入れていますか。」という設問に対して肯定的な回答が36.9%、「生徒が自分の考えで、観察・実験の計画を立てる学習計画を取り入れていますか。」という設問に対して肯定的な回答が13.6%となっている。

#### 20 理科の授業での「探究活動」についてお答えください。

■ 行っている ■ どちらかといえば行っている ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば行っていない ■ 行っていない

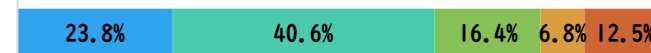
③ 生徒に予想させる。



① 生徒に疑問を感じさせる。



⑨ 実験結果について生徒に分析・解釈させている。



⑩ 生徒にレポートやプレゼンテーションを作成させている。



⑧ 実験結果について、生徒が表やグラフの作成について考えさせている。



⑫ 生徒に探究活動の振り返りをさせている。



⑤ 生徒に仮説を設定させている。



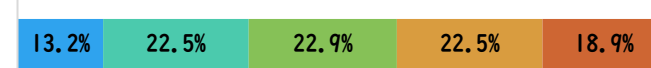
② 疑問から生徒に問いを立てさせる。



⑪ 発表活動を行っている。



④ 生徒に予想したことから実験の方法を考えさせる。



⑥ 生徒に実験計画を立てさせている。



⑦ 生徒が立てた計画で実験させている。



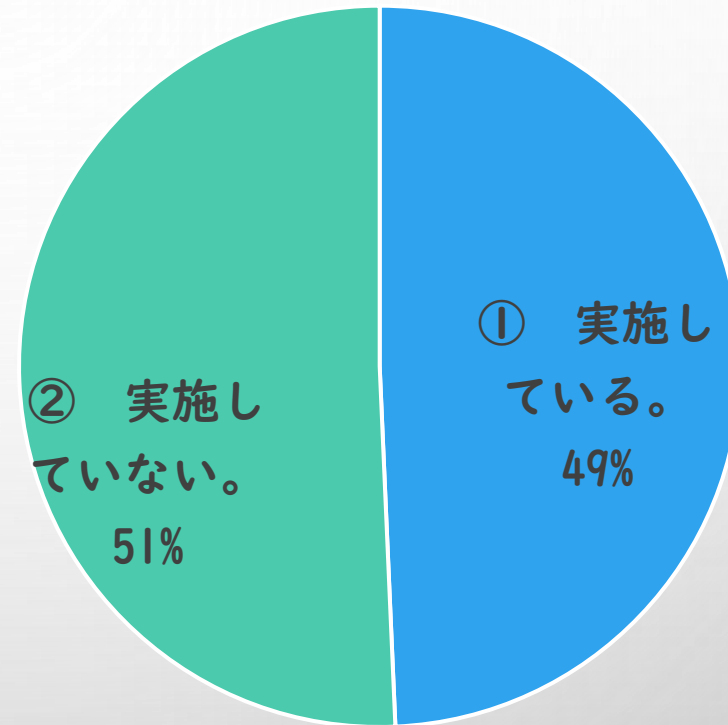
## 【探究】

22 貴校の「課題研究」の実施についてお答えください。

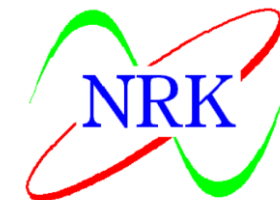
「課題研究」とは、生徒が自ら課題を見だし、問いを立て、仮説を設定し、それを実験調査等で検証し、結論を得て整理発表する活動を指します。

令和3年度調査でも顕著な増加傾向が見られていた探究活動の実施は、令和5年度ではその増加が確実となり、45.9%の学校が「課題研究」を実施していました。令和6年度はおよそ49.3%と、さらに向上しています。

「課題研究」の実施



## 【探究】



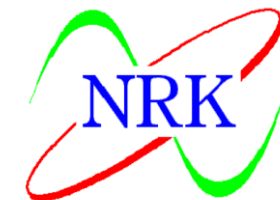
### 15 SSHの状況と22 課題研究の実施の関係

SSHの状況	① 実施している。	② 実施していない。
① 現在指定されている(経過措置校含む)。	32	2
② 過去に指定されていた。	4	2
③ 指定されていない。	103	141
④ これから申請を予定している。	2	0
⑤ 申請を検討している。	1	1

### 16 DXハイスクールの状況と22 課題研究の実施の関係

DXハイスクールの状況	① 実施している。	② 実施していない。
① 現在指定されている。	25	24
② 指定されていない。	115	120
③ これから申請を予定している。	2	1
④ 申請を検討している。	0	1

## 【探究】



### 15 SSHの状況と22 課題研究の実施の関係

SSHの状況	① 実施している。	② 実施していない。
① 現在指定されている(経過措置校含む)。	32	2
② 過去に指定されていた。	4	2
③ 指定されていない。	103	141
④ これから申請を予定している。	2	0
⑤ 申請を検討している。	1	1

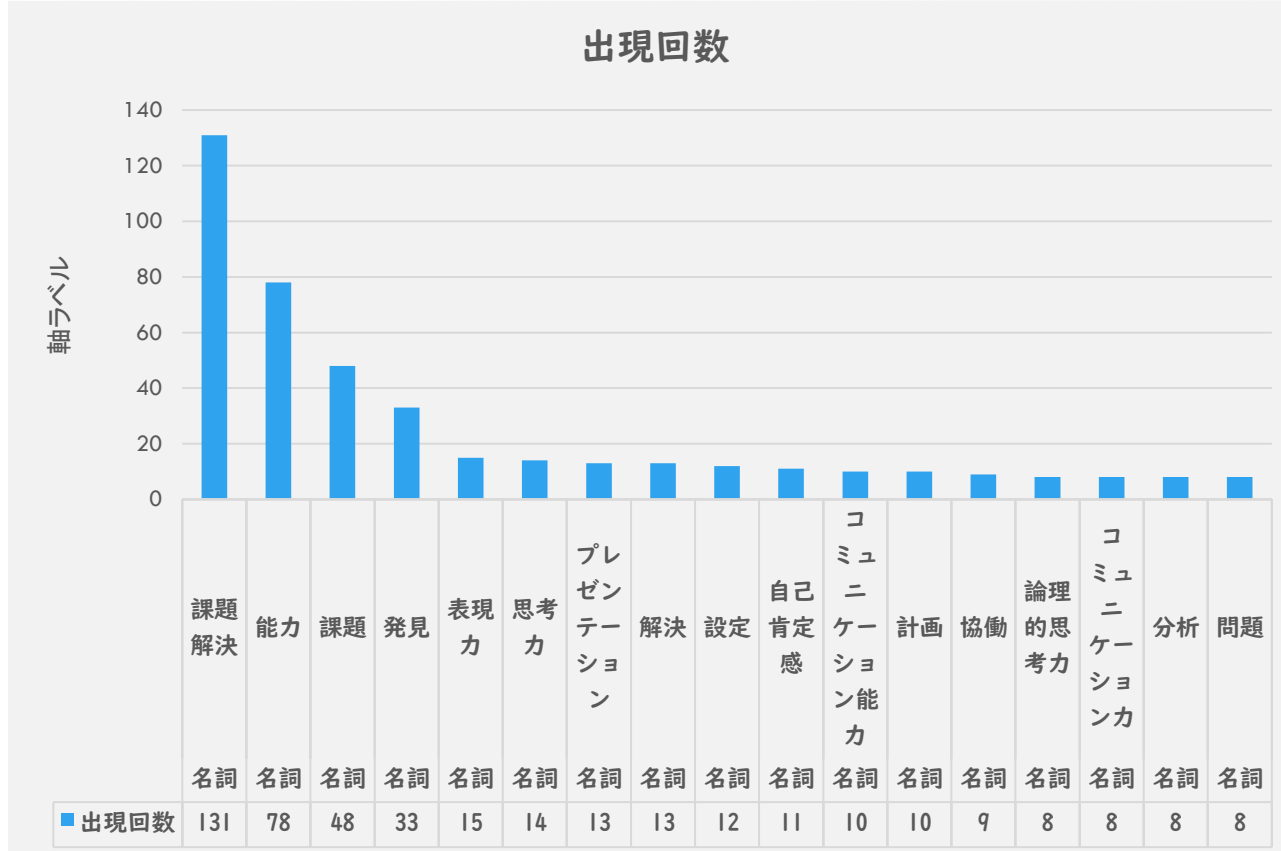
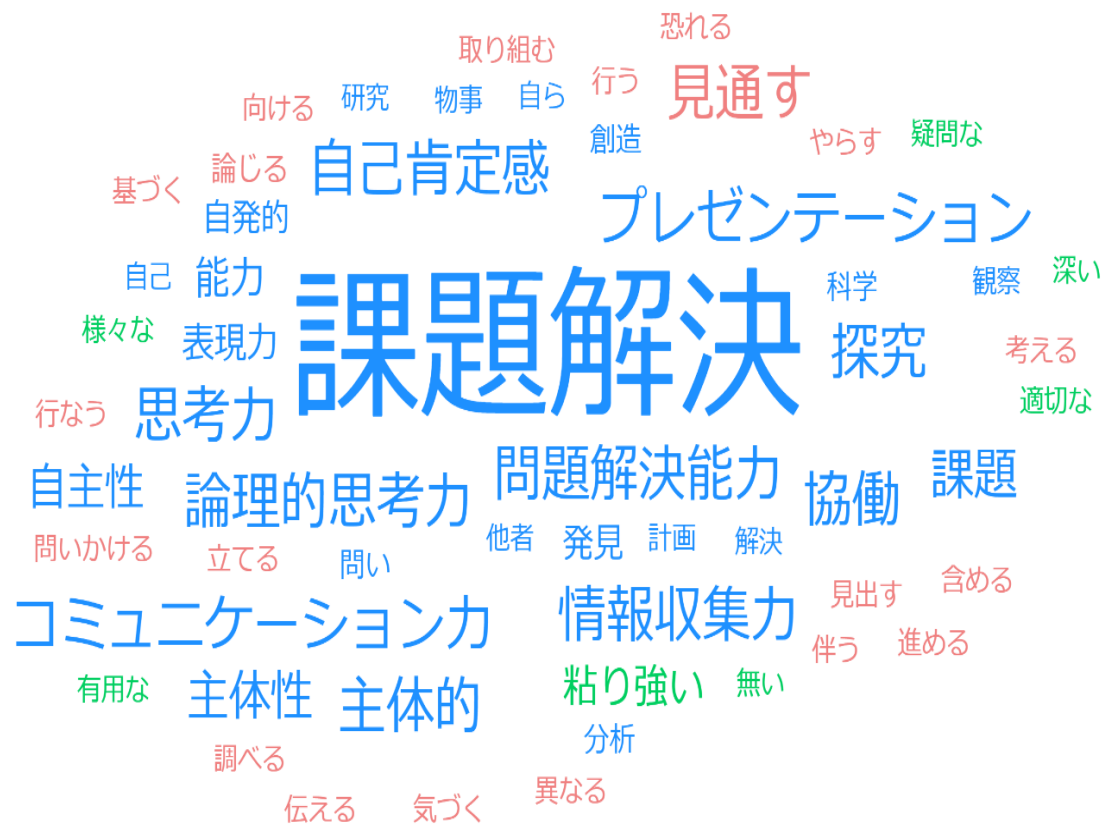
### 16 DXハイスクールの状況と22 課題研究の実施の関係

DXハイスクールの状況	① 実施している。	② 実施していない。
① 現在指定されている。	25	24
② 指定されていない。	115	120
③ これから申請を予定している。	2	1
④ 申請を検討している。	0	1

# 【探究】

23 「課題研究」をとおして特に育成されると先生が思われている資質・能力についてご記入ください。

青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞・形容動詞



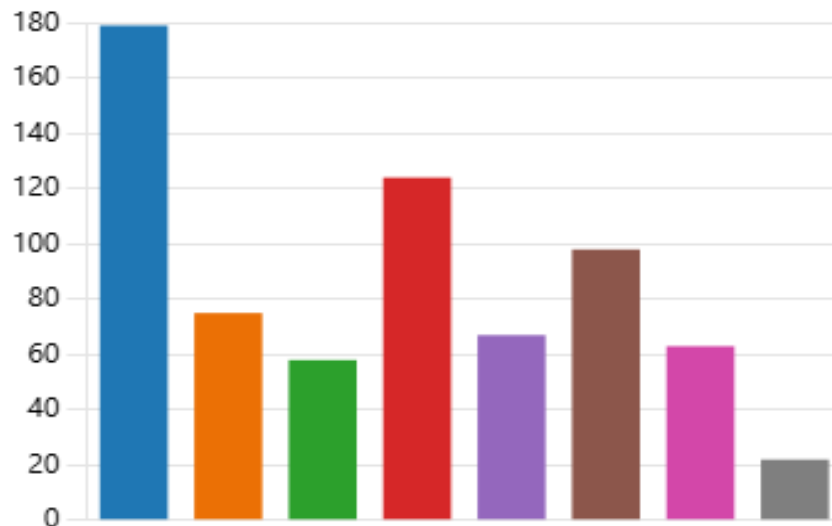
## 【探究】

24 理科における「探究活動」や「課題研究」などの探究学習において課題の設定や問い（Research Question）の設定の過程で行っているものをお答えください。  
（複数回答可） N=288

「探究活動」について、現在どのような形で取り組んでいるか	人
①自然事象の観察や実験の結果から予測をさせている。	179
②「探究とは」など、探究の過程そのものを学習する時間を設定している。	75
③研究者による講演会を行ったり、参加させたりしている。	58
④疑問に感じることを整理する活動を取り入れている。	124
⑤先行研究に関する論文の検索や読む活動を取り入れている。	67
⑥テーマの設定についての指導を行っている。	98
⑦問い（リサーチクエスチョン）の立て方についての指導を行っている。	63
⑧その他	22

課題の設定の過程については、「理数」，「総合的な探究の時間」ともに最も困難であると感じているという回答数が昨年度も多かった。生徒が課題を見だし、課題を設定する過程の指導法について、今後指導法の開発が期待される。

- 自然事象の観察や実験の結果から予測をさせている。 179
- 「探究とは」など、探究の過程そのものを学習する時間を設定している。 75
- 研究者による講演会を行ったり、参加させたりしている。 58
- 疑問に感じることを整理する活動を取り入れている。 124
- 先行研究に関する論文の検索や読む活動を取り入れている。 67
- テーマの設定についての指導を行っている。 98
- 問い（リサーチクエスチョン）の立て方についての指導を行っている。 63
- その他 22





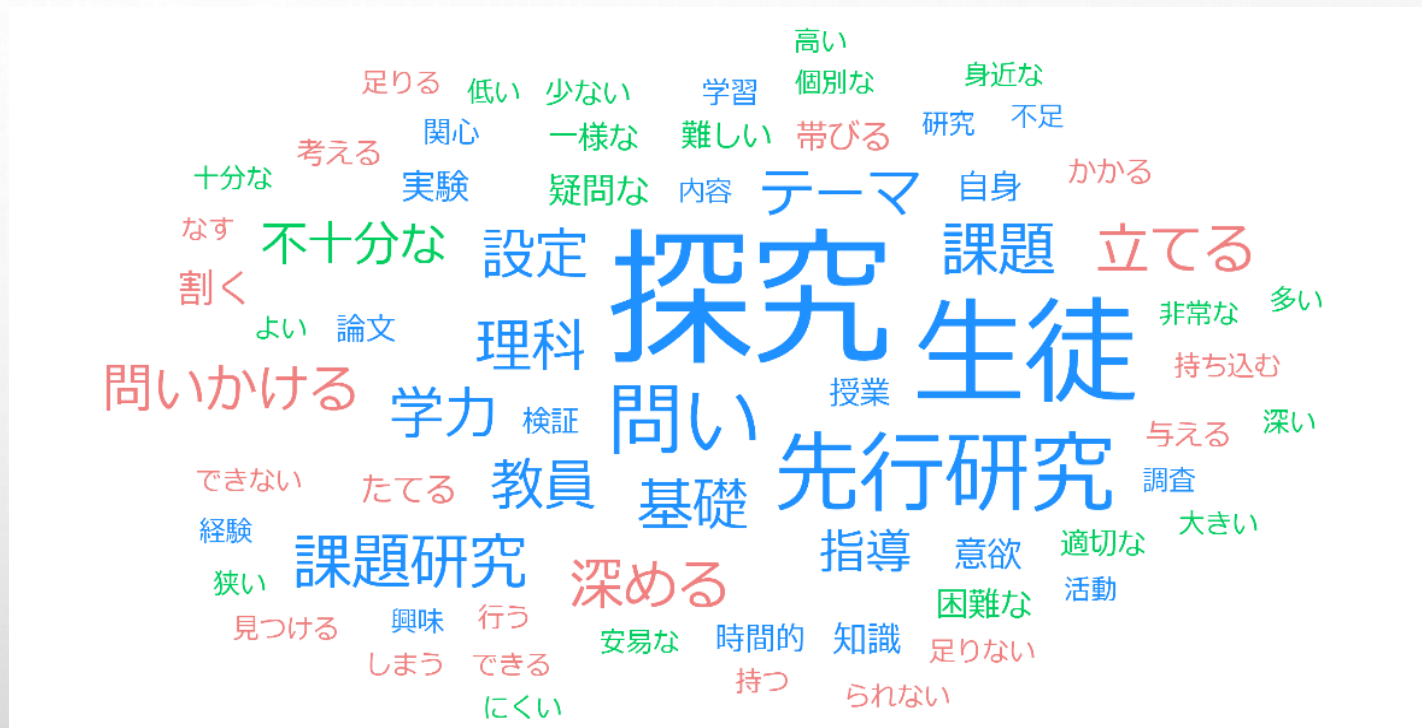
## 【探究】

26 理科における「探究活動」や「課題研究」などの探究学習において課題の設定や問い（Research Question）の設定の過程で困難に感じていることについて具体的にご記入ください。

自由記述方式での回答を、内容により以下のように分類しました。

表 課題の設定や問いの設定の過程で困難に感じていること N=147

分類	人数	割合 (%)
生徒の知識・技能	45	30.6
問いの設定の指導法	35	23.8
時間	29	19.7
実現可能性	11	7.5
教員の指導力	11	7.5
先行研究調査	8	5.4
指導体制	8	5.4



## 【探究】

27 課題研究の指導に当たって生徒の主体的な取り組みにするために特に先生が心掛けておられることや工夫されていることがあれば自由にお書きください。

### 問いの生成

「指導ではなく常に問いで生徒に考えさせる」

「疑問のきっかけづくり」

「継続的に問いを設定するようにしている」

### 教員の支援における態度

「危険でなければ、間違っているとしても指摘せずあえて取り組ませ、間違いから学び取らせるように仕向けている」

「教員側が口を挟まないように心がけている。」

「研究内容は生徒が一番詳しくあるべきなので、教員はファシリテートに徹し、必要以上に指導をしないこと。」

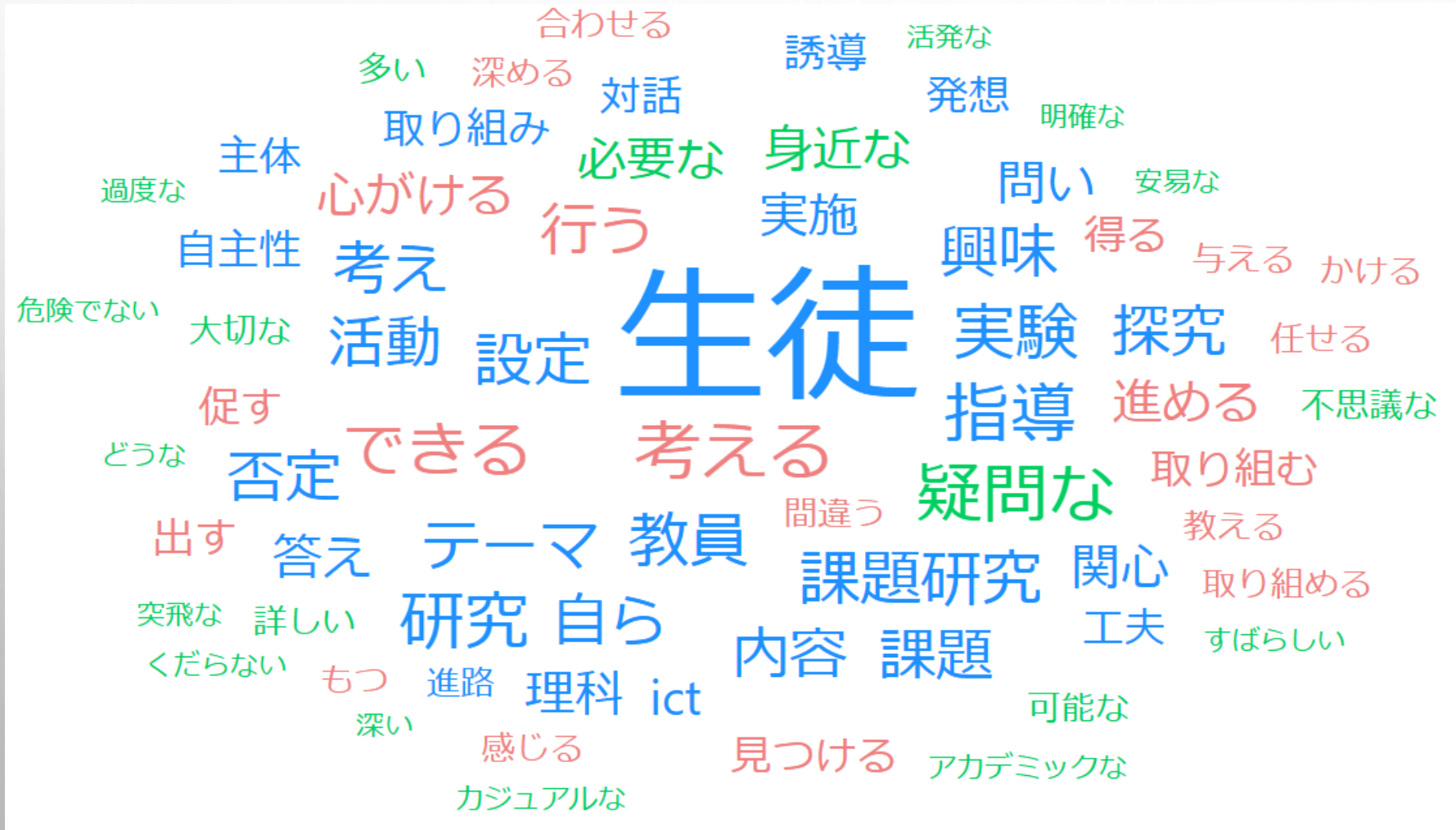
### 生徒同士の対話ができる環境づくり

「生徒同士の対話の時間を増やす」

「周囲との対話を通して生徒が自らの考えを客観的に評価できる場面を作ること」

## 【探究】

27 課題研究の指導に当たって生徒の主体的な取り組みにするために特に先生が心掛けておられることや工夫されていることがあれば自由にお書きください。



「課題研究」の生徒の取り組みを支援する方法として具体的な方法について有益な情報である。教師が指導するのではなく、生徒の活動をどのように支援するかについて、今後の課題研究に対する教師の態度について参考となる。

## 【探究】

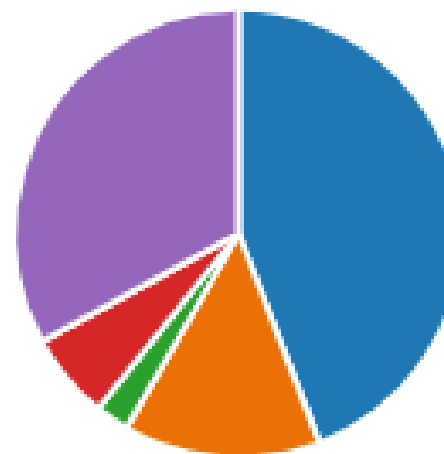
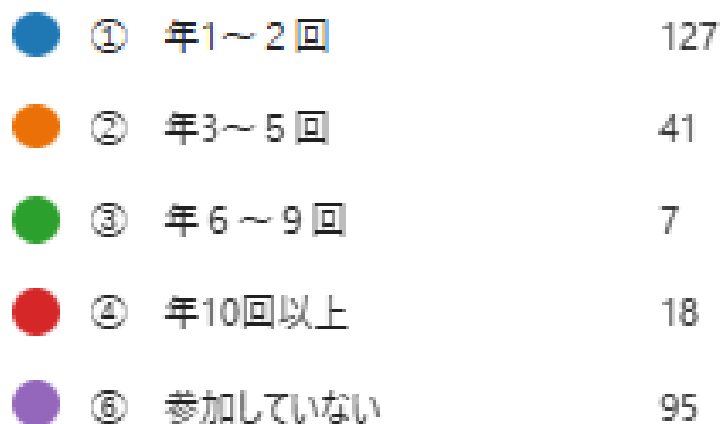
27 課題研究の指導に当たって生徒の主体的な取り組みにするために特に先生が心掛けておられることや工夫されていることがあれば自由にお書きください。

分類	人数	回答者に対する割合 (%)
介入しすぎない	32	28.8
生徒の興味・関心	23	20.7
教材の工夫	12	10.8
対話	10	9.0
生徒に問う	10	9.0
文献調査	6	5.4
適度な指導	5	4.5
実験	4	3.6
時間の確保	3	2.7
ICT	2	1.8
外部連携	2	1.8
環境整備	2	1.8

## 【人材育成】

28 校外の研修会への参加の状況についてお答えください。 N=288

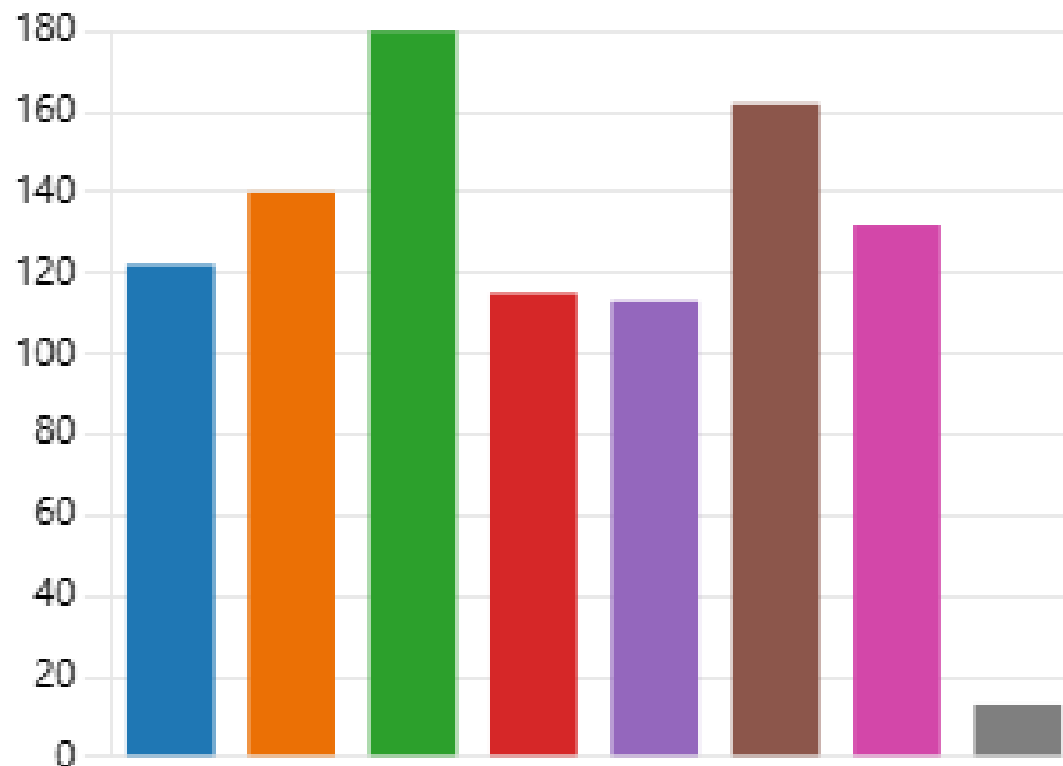
項目	人数	回答者に対する割合 (%)
年1～2回	127	44.1
年3～5回	41	14.2
年6～9回	7	2.4
年10回以上	18	6.3
参加していない	95	33.0



## 【人材育成】

29 理科の教員対象の研修ではどのような内容が必要か当てはまるものを全てお選びください。（複数回答可） N=288

● 授業の構成（授業計画）	122
● 指導の方法（指導計画）	140
● 探究活動、探究的な指導	180
● 評価の方法（評価計画）	115
● 観点別評価の方法	113
● 生徒実験の指導技術	162
● 演示実験の実験技術	132
● その他	13



## 【人材育成】

31 教えにくい、または研修を受けてみたい具体的な単元名をご記入ください。

### (1) 科学と人間生活

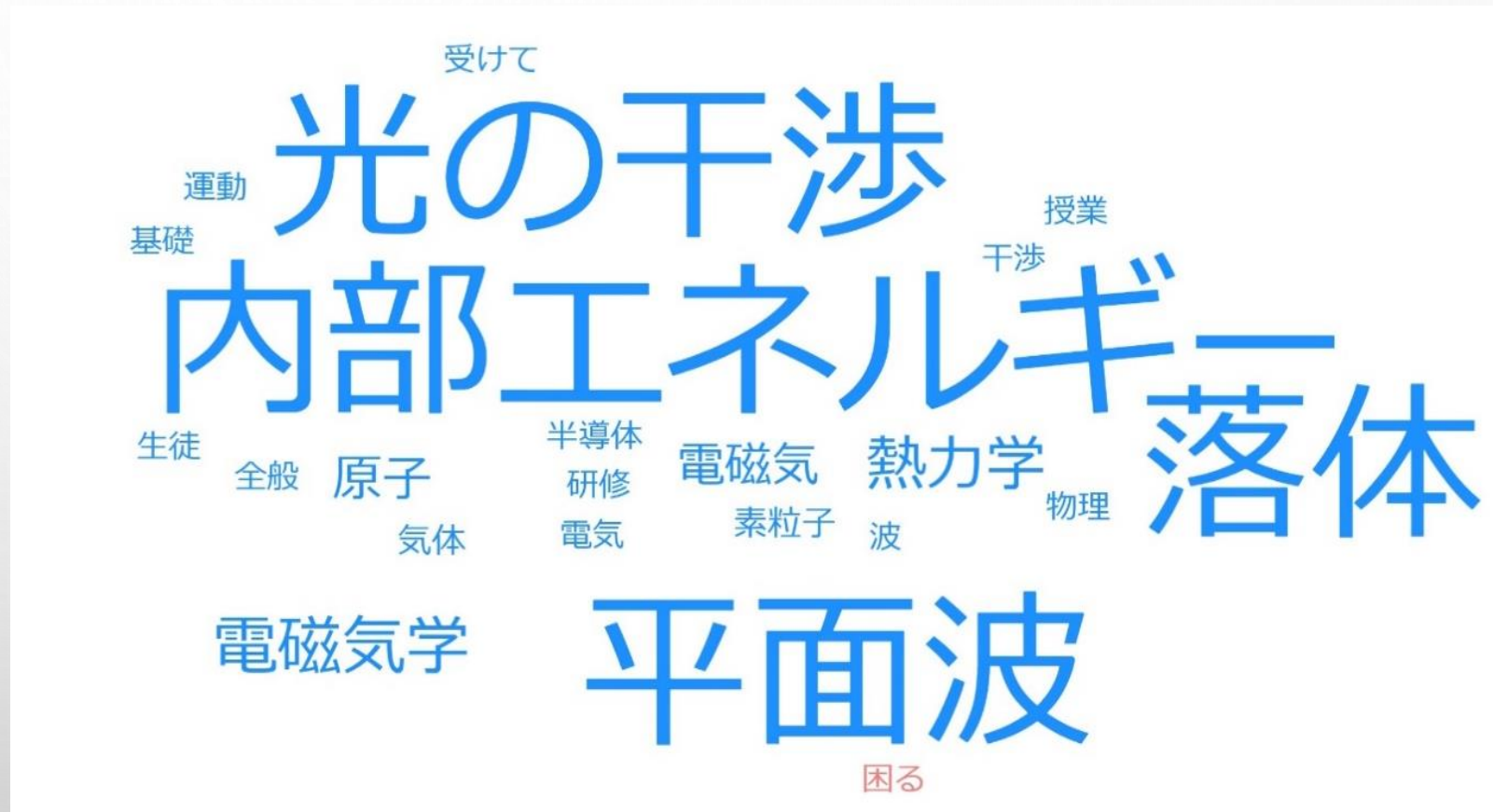
科学と人間生活の科学技術の発展/科学と人間生活

## 【人材育成】

31 教えにくい、または研修を受けてみたい具体的な単元名をご記入ください。

### (2) 物理基礎・物理

気体の内部エネルギー、  
RLC直列回路/素粒子/電気/  
原子分野(4)/落体の運動/  
熱力学(4)/光の干渉/波・  
波動(3)/電気・電磁気(5)/  
半導体について/運動の表  
し方

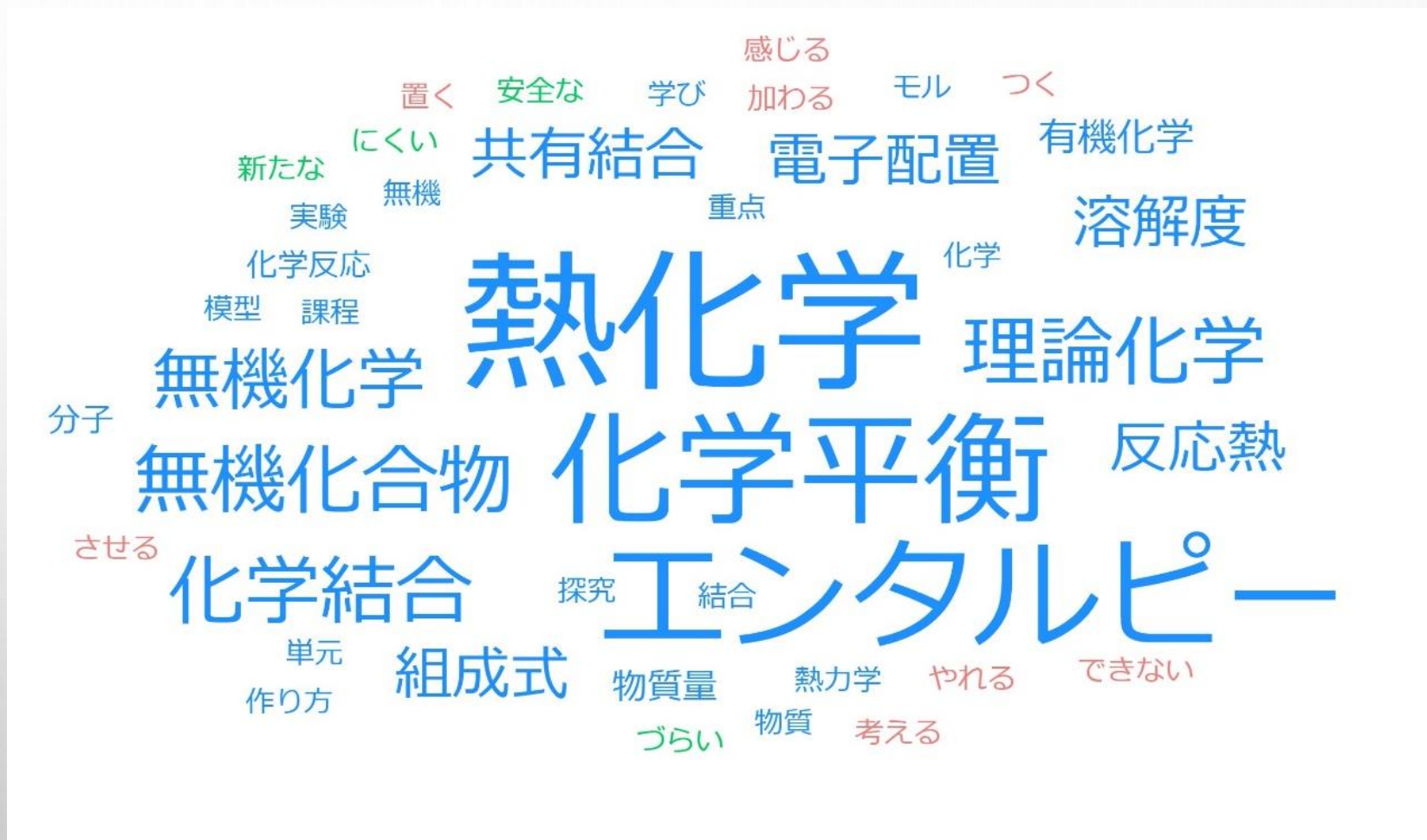




## 【人材育成】

31 教えにくい、または研修を受けてみたい具体的な単元名をご記入ください。

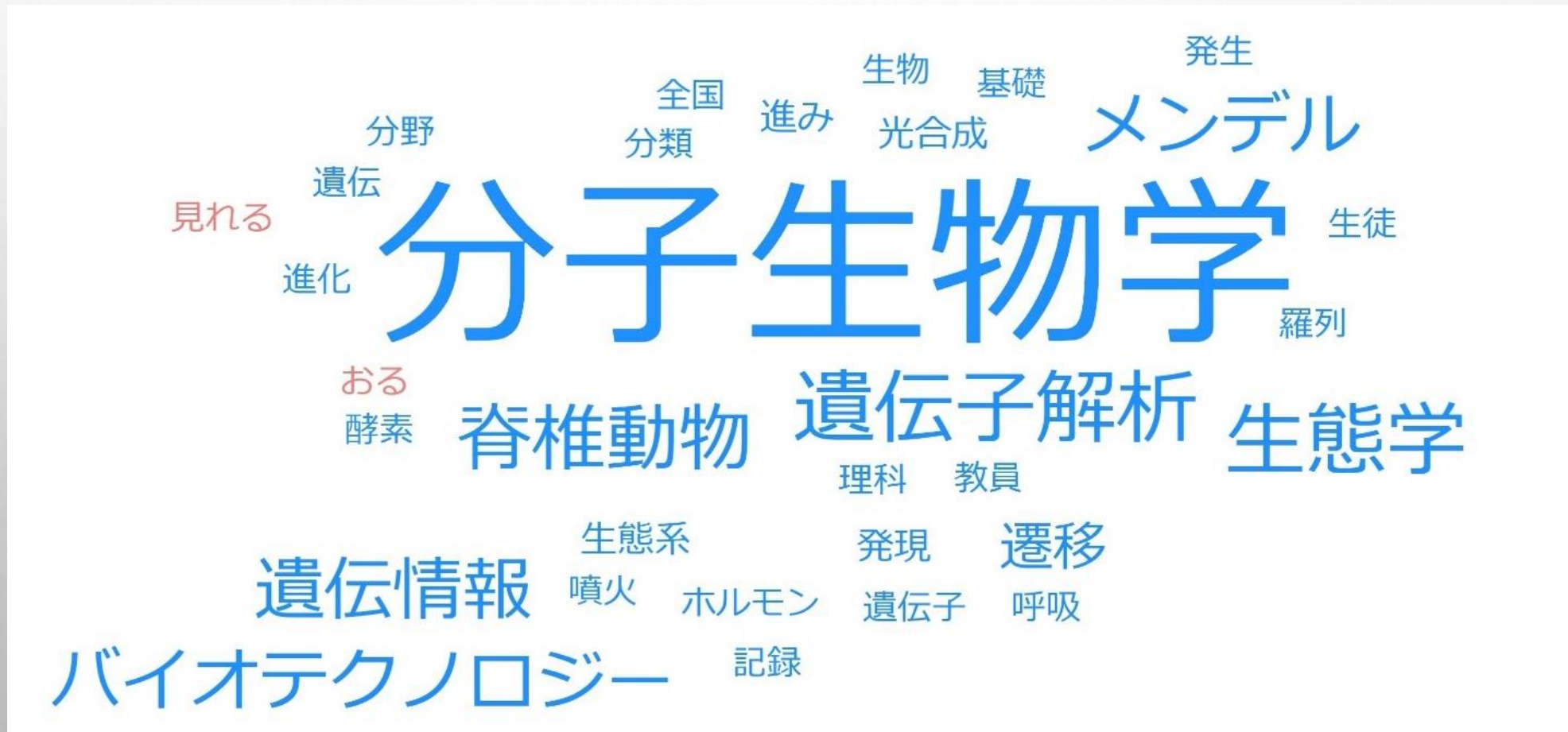
### (3) 化学基礎・化学



## 【人材育成】

31 教えにくい、または研修を受けてみたい具体的な単元名をご記入ください。

### (4) 生物基礎・生物



## 【人材育成】

31 教えにくい、または研修を受けてみたい具体的な単元名をご記入ください。

### (5) 地学基礎・地学

気象/地学の単元であればどこでも。実験がしづらい。/日本の地史/  
大気の大循環

## 【人材育成】

31 教えにくい、または研修を受けてみたい具体的な単元名をご記入ください。

### （6）探究

生徒に実験計画立案させる、実際にやってみる、の流れ/どのようにしてテーマを決めさせているか/

課題設定/探究活動に適した実験指導/探究活動/探究的な指導について/教科横断型

### （7）実験

生徒実験の開発の仕方について/身近な題材を用いた実験/指導困難校での実験指導/実験方法 実験器具の扱い方

### （8）その他

非認知能力の育成指導/ICTを用いた客観的かつ一部でも自動的な評価計算、専門外科目を指導することになった場合の研修/時間の捻出/授業方法

## 【人材育成】

32 教員の人材育成の機会として、現在どのようなものを活用していますか。  
当てはまるものを全てお選びください。(複数回答可) N=288

項目	人数	回答者に対する割合 (%)
① 校内研修	138	47.9
② 校内におけるOJT	68	23.6
③ 個人的に他校の先輩教員から学ぶ	84	29.2
③ 都道府県主催の研修	118	41.0
⑤ 任意の研究団体主催の研修 (オンラインでないもの)	101	35.1
⑥ 任意の研究団体主催のオンラインでの研修	60	20.8
⑦ 自分で情報を収集して学ぶ	174	60.4
⑧ 予備校等主催の研修	55	19.1
⑨ その他	7	2.4

## 【遠隔授業】

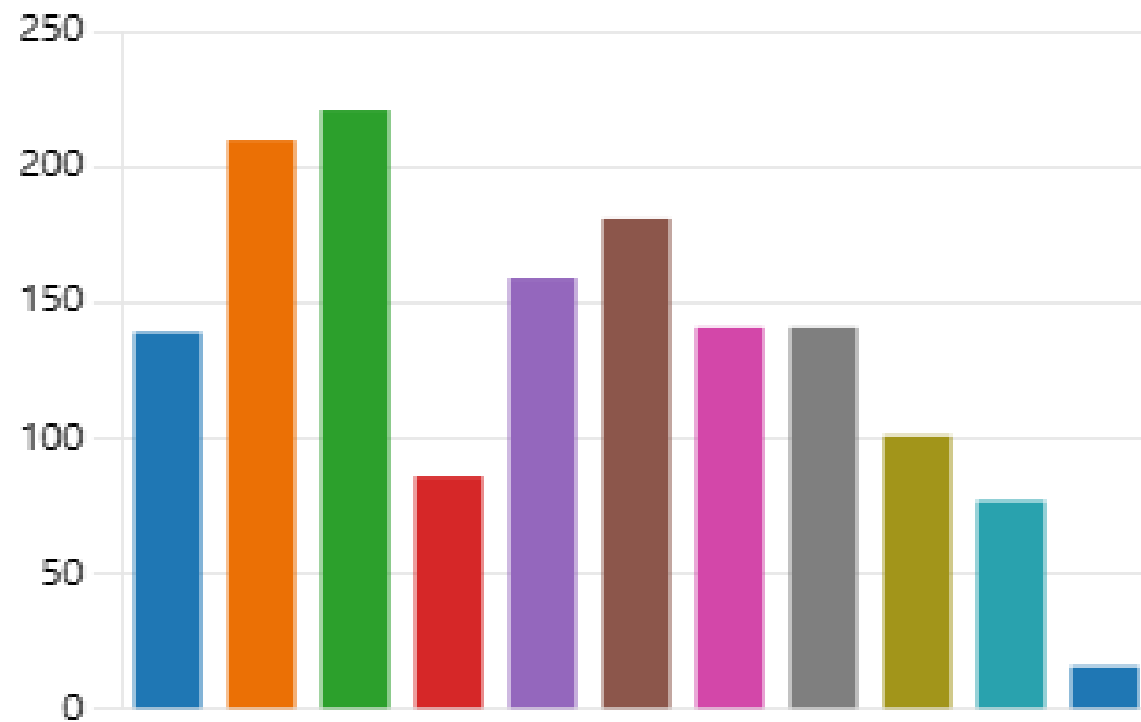
34 理科における遠隔授業(オンライン授業)の状況についてお答えください。

N=288

項 目	人 数	回答者に対する割合 (%)
① 実施している。	35	12.2
② 実施していない。	171	59.4
③ 現在実施していないが、実施したことがある。	70	24.3
④ 現在実施していないが、検討している。	12	4.2

## 【遠隔授業】

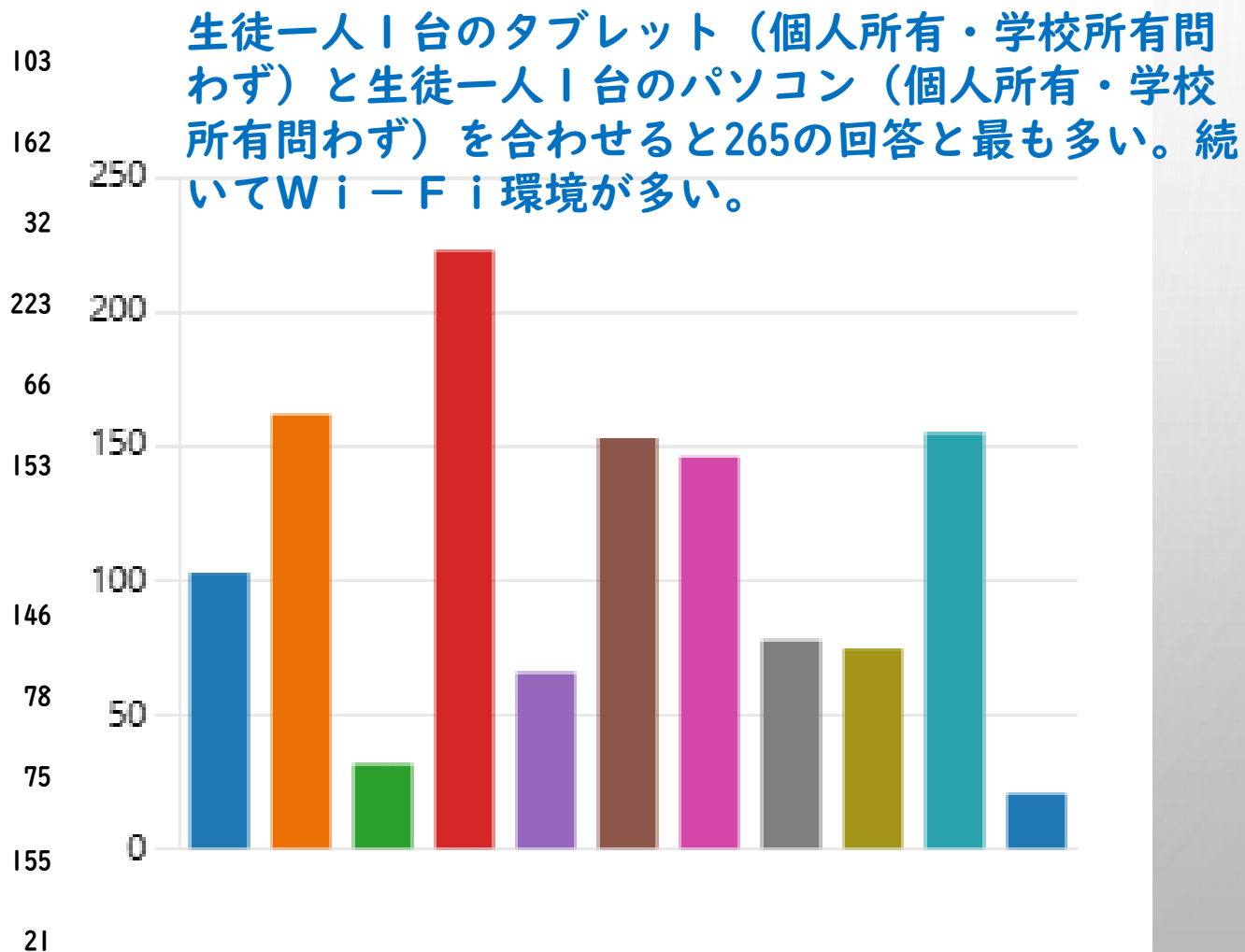
35 理科における遠隔授業の実施に必要な要素として考えられることについてお答えください。当てはまるものを全てお選びください。（複数回答可）N=288



## 【個別最適な学びと、協働的な学びの実現】

37 理科における遠隔授業の実施に必要な要素として考えられることについてお答えください。当てはまるものを全てお選びください。（複数回答可）N=288

- ① 生徒一人1台のパソコン（個人所有・学校所有問わず）
- ② 生徒一人1台のタブレット（個人所有・学校所有問わず）
- ③ 生徒一人1台のスマートフォン
- ④ Wi-Fi環境
- ⑤ センサーを使用したパソコン計測ができる環境
- ⑥ クラウドにデータを上げ、教員と生徒で共有できる環境
- ⑦ プロジェクターやスクリーン、マイク設備等のプレゼンテーションができる環境
- ⑧ アプリ
- ⑨ 電子黒板
- ⑩ 少人数での指導
- ⑪ その他





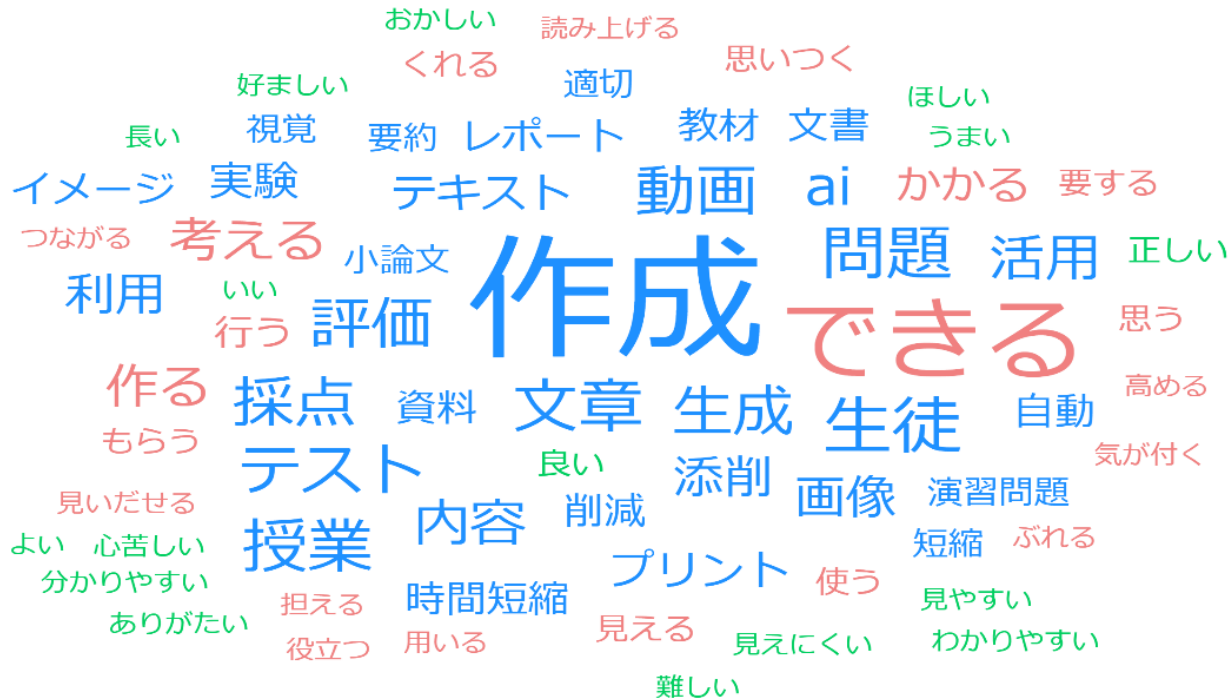
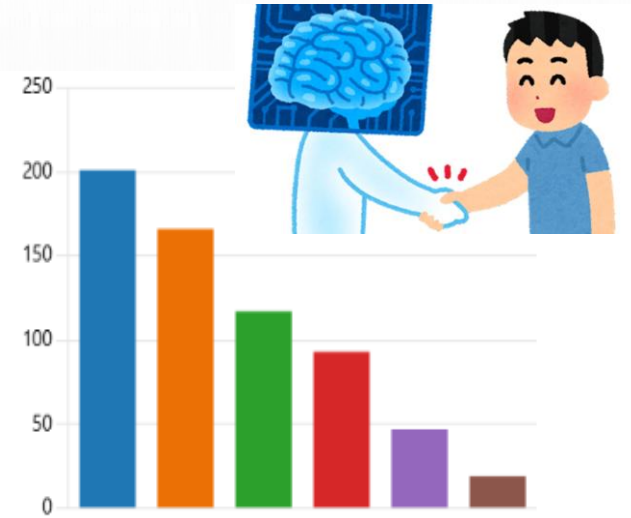
# 【生成AIの活用】

39 生成AIを活用してみたい。N=288

項目	人数	回答者に対する割合 (%)
① 当てはまる。	101	35.1
② だいたい当てはまる。	68	23.6
③ どちらともいえない。	77	26.7
④ あまり当てはまらない。	18	6.3
⑤ 当てはまらない。	24	8.3

41 今後、「生成AI」を活用する場面として考えられることについて当てはまるものをすべてお書きください。（複数回答可）

- ① テキスト作成 201
- ② 記述文章の評価 166
- ③ 画像作成 117
- ④ 動画生成 93
- ⑤ 音声生成 47
- ⑥ その他 19



生成AIを活用してみたいですかという質問に対しては、当てはまる、だいたい当てはまるという肯定的な回答が59%（昨年度54%）となっている。見えないものが見えるような、シミュレーションする動画や業務削減への期待が多く見受けられた。



# 報告の流れ

- 序章 調査の概要
- 第1章 具体的な取組の現状
- 第2章 **教育課程に関する調査結果**
- 第3章 先生方の思い



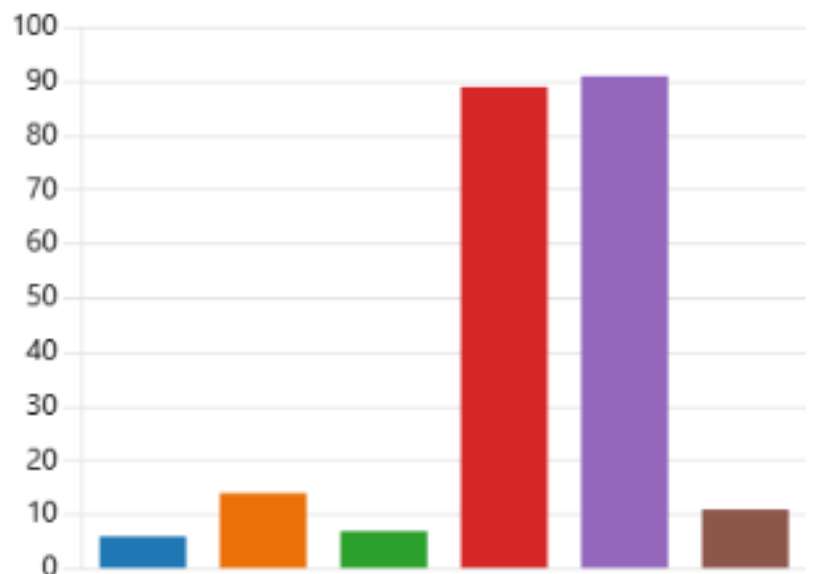
45 【普通科（理数科を設置していない）の学校のみ回答】

令和6年度 N=218

	回答数	割合 (%)
① 「理数探究基礎」は1年生(又は2年生)全員に履修させ、「理数探究」はそれ以後の学年で希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他のクラスは、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	6	2.8
② 「理数探究基礎」, 「理数探究」ともに希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他のクラスは、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	14	6.4
③ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で理数領域の探究活動を実施している。	7	3.2
④ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で文理に関わらない広領域での探究活動を実施している。	89	40.8
⑤ 特に理数領域の探究活動は実施していない。	91	41.7
⑥ その他	11	5.0

令和5年度 N=327

	回答数	割合 (%)
① 「理数探究基礎」は1年生(又は2年生)全員に履修させ、「理数探究」はそれ以後の学年で希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他のクラスは、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	8	2.4
② 「理数探究基礎」, 「理数探究」ともに希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他のクラスは、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	9	2.8
③ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で理数領域の探究活動を実施している。	13	4.0
④ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で文理に関わらない広領域での探究活動を実施している。	162	49.5
⑤ 特に理数領域の探究活動は実施していない。	118	36.1
⑥ その他	17	5.2



「理数」を設置している学校が増加傾向である。

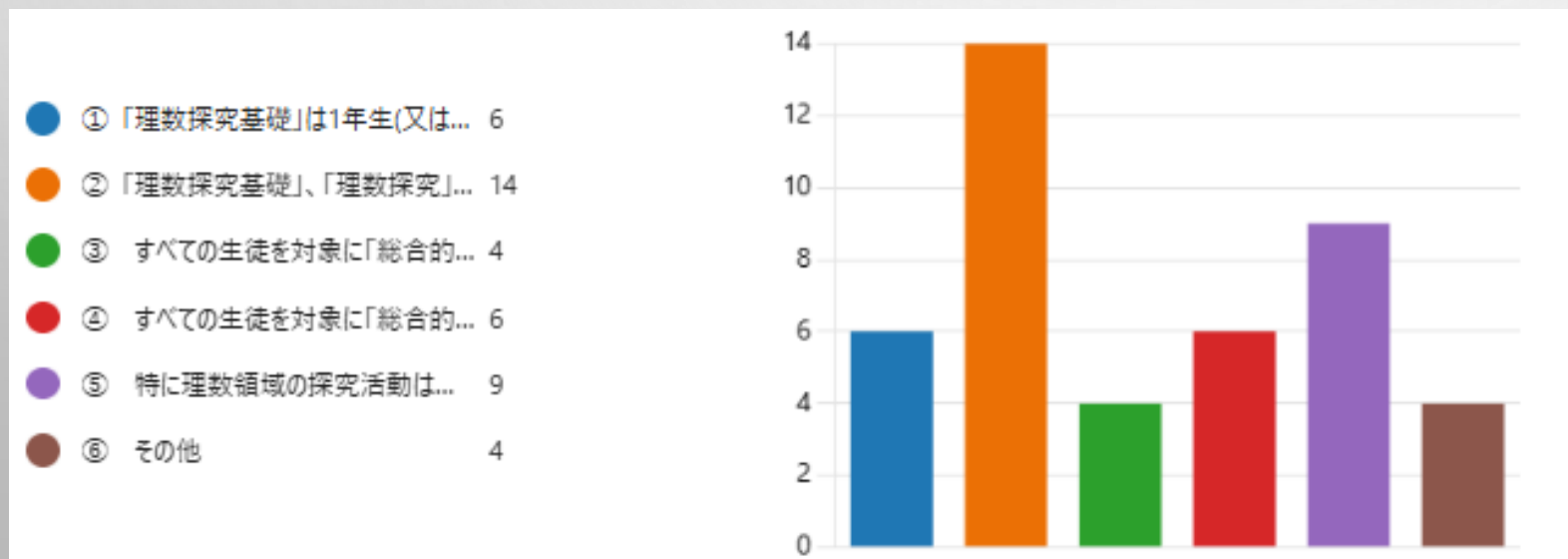
45 【理数科設置校の学校のみ回答】

令和6年度 N=43

令和5年度 N=81

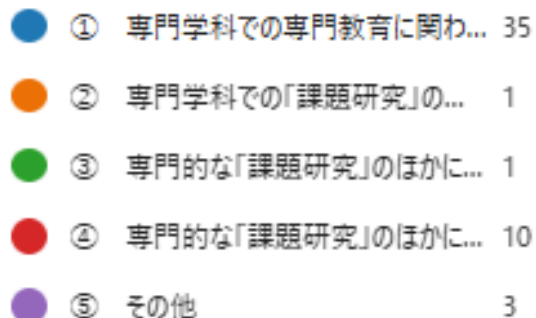
	回答数	割合 (%)
① 「理数探究基礎」は1年生(又は2年生)全員に履修させ、「理数探究」はそれ以後の学年で希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他の生徒は、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	6	14.0
② 「理数探究基礎」、「理数探究」ともに希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他のクラスは、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	14	32.6
③ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で理数領域の探究活動を実施している。	4	9.3
④ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で文理に関わらない広領域での探究活動を実施している。	6	14.0
⑤ 特に理数領域の探究活動は実施していない。	9	20.9
⑥ その他	4	9.3

	回答数	割合 (%)
① 「理数探究基礎」は1年生(又は2年生)全員に履修させ、「理数探究」はそれ以後の学年で希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他の生徒は、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	17	21.0
② 「理数探究基礎」、「理数探究」ともに希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他のクラスは、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	13	16.0
③ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で理数領域の探究活動を実施している。	4	4.9
④ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で文理に関わらない広領域での探究活動を実施している。	22	27.2
⑤ 特に理数領域の探究活動は実施していない。	16	19.8
⑥ その他	9	11.1



「理数探究基礎」を設置している学校が増加している。

	回答数	割合 (%)		回答数	割合 (%)
① 専門学科での専門教育に関わる「課題研究」のみ履修させている。	35	74.5	① 専門学科での専門教育に関わる「課題研究」のみ履修させている。	44	69.8
② 専門学科での「課題研究」のほかに、選択教科として「理数」を設置し、「理数探究基礎」,「理数探究」とともに希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他のクラスは、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	1	2.1	② 専門学科での「課題研究」のほかに、選択教科として「理数」を設置し、「理数探究基礎」,「理数探究」とともに希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他のクラスは、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	4	6.3
③ 専門的な「課題研究」のほかに、すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で「理数領域」の探究活動を実施している。	1	2.1	③ 専門的な「課題研究」のほかに、すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で「理数領域」の探究活動を実施している。	0	0.0
④ 専門的な「課題研究」のほかに、すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で文理に関わらない広領域での探究活動を実施している。	10	21.3	④ 専門的な「課題研究」のほかに、すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で文理に関わらない広領域での探究活動を実施している。	15	23.8
⑤ その他	0	0.0	⑤ その他	0	0.0



※ 「課題研究」を設置している学校が7割程度となっています。

## 51 【総合学科の学校のみ回答】

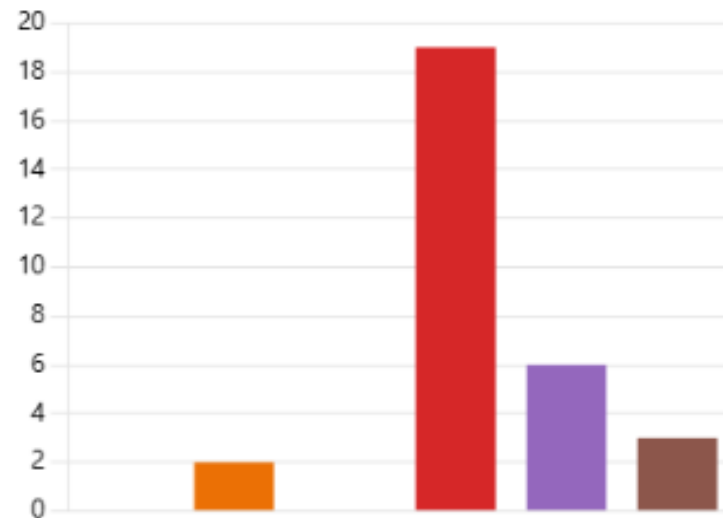
令和6年度 №30

令和6年度 №35

	回答数	割合 (%)
① 「理数探究基礎」は1年生(又は2年生)全員に履修させ、「理数探究」はそれ以後の学年で希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他の生徒は、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	0	0.0
② 「理数探究基礎」, 「理数探究」とともに希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他のクラスは、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	2	6.7
③ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で理数領域の探究活動を実施している。	0	0.0
④ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で文理に関わらない広領域での探究活動を実施している。	19	63.3
⑤ 特に理数領域の探究活動は実施していない。	6	20.0
⑥ その他	3	10.0

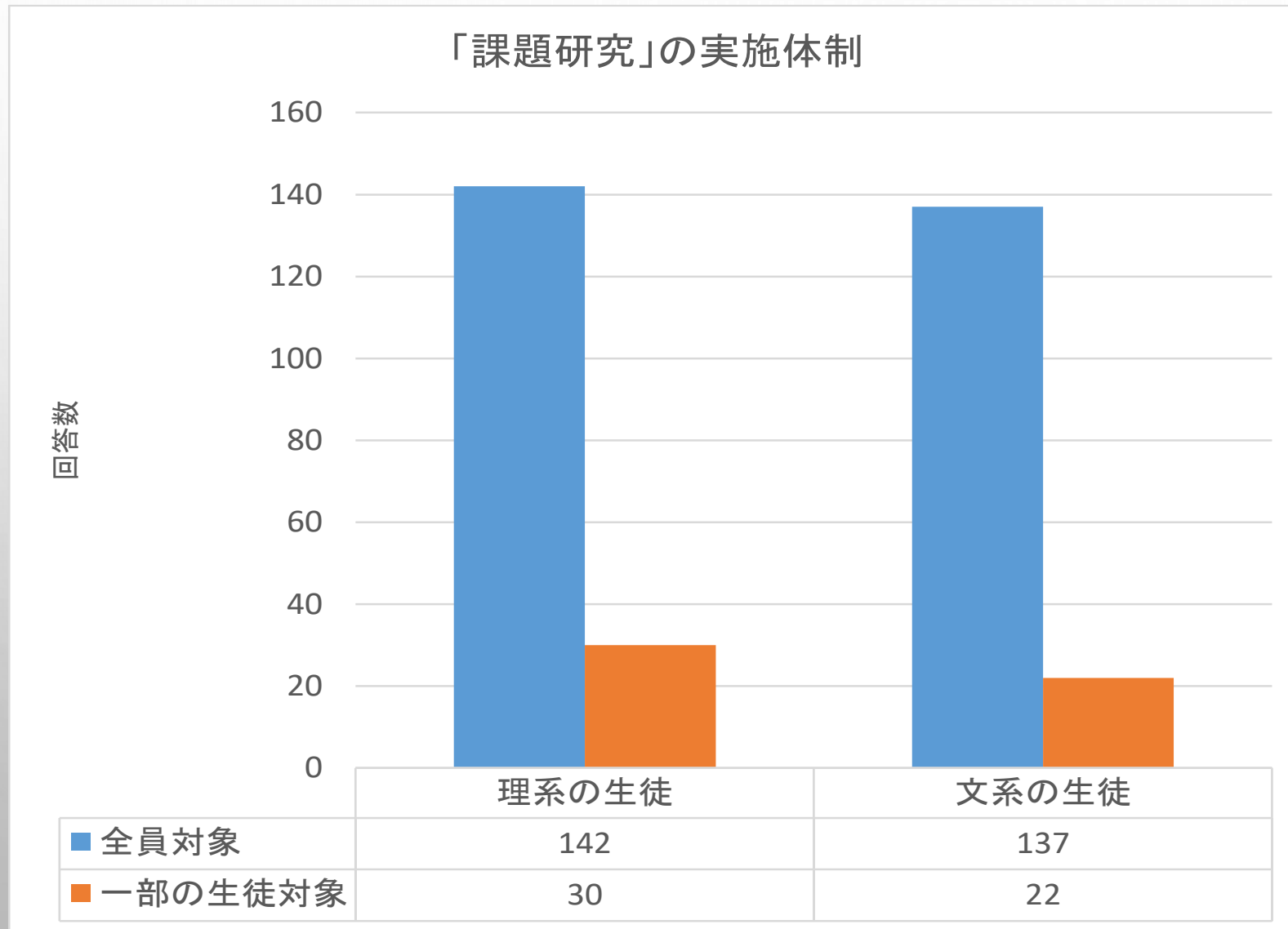
	回答数	割合 (%)
① 「理数探究基礎」は1年生(又は2年生)全員に履修させ、「理数探究」はそれ以後の学年で希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他の生徒は、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	5	14.3
② 「理数探究基礎」, 「理数探究」とともに希望者又は探究クラスのような理数系に特化したクラスで実施している。その他のクラスは、「総合的な探究の時間」で探究活動を実施している。	2	5.7
③ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で理数領域の探究活動を実施している。	2	5.7
④ すべての生徒を対象に「総合的な探究の時間」で文理に関わらない広領域での探究活動を実施している。	14	40.0
⑤ 特に理数領域の探究活動は実施していない。	10	28.6
⑥ その他	2	5.7

- ① 「理数探究基礎」は1年生(又は... 0
- ② 「理数探究基礎」、「理数探究」... 2
- ③ すべての生徒を対象に「総合的... 0
- ④ すべての生徒を対象に「総合的... 19
- ⑤ 特に理数領域の探究活動は... 6
- ⑥ その他 3



※総合的な探究の時間で文理に関わらない広領域での探究活動を実施している学校が増加傾向

## 55 「課題研究」の実施体制についてお答えください。

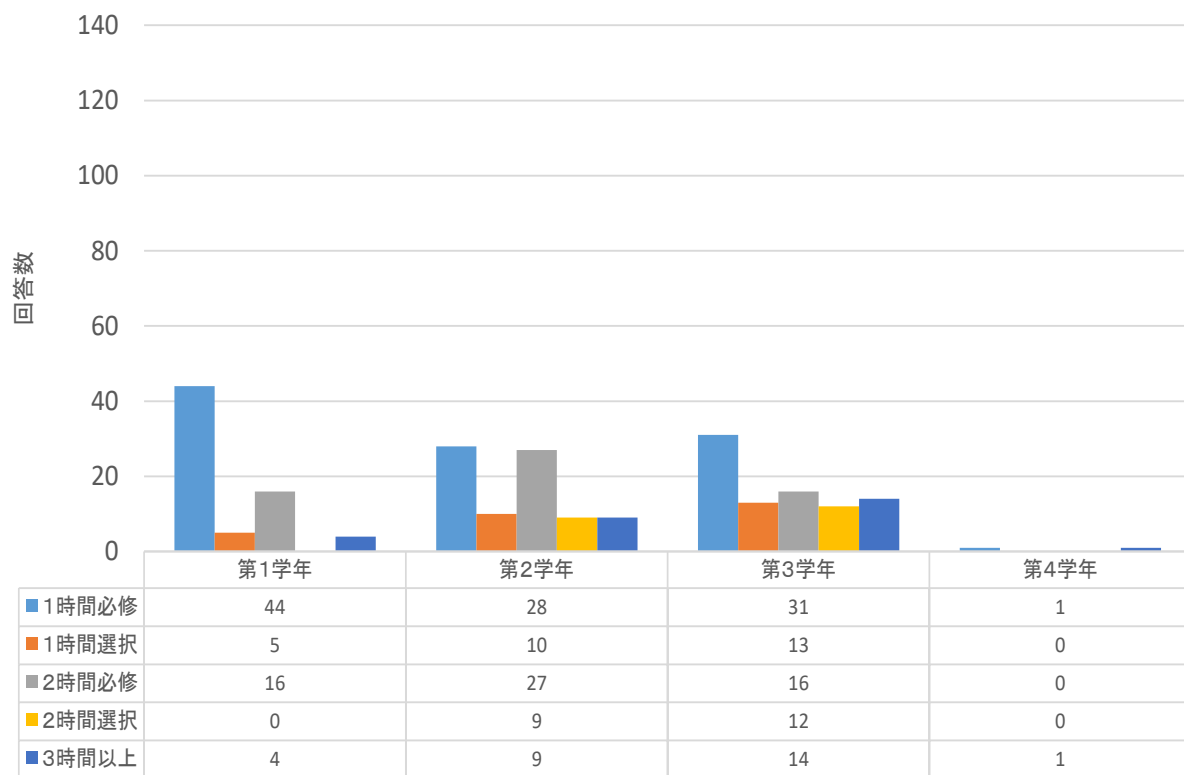


文理に関わらず課題研究を実施している



53 数学的な手法や科学的な手法などを用いる「課題研究」の週あたりの実施時間数をお答えください。実施時間数は生徒が授業時間割内で課題研究を履修することのできる最大時数を答えてください。当てはまらない場合は「なし」としてください。

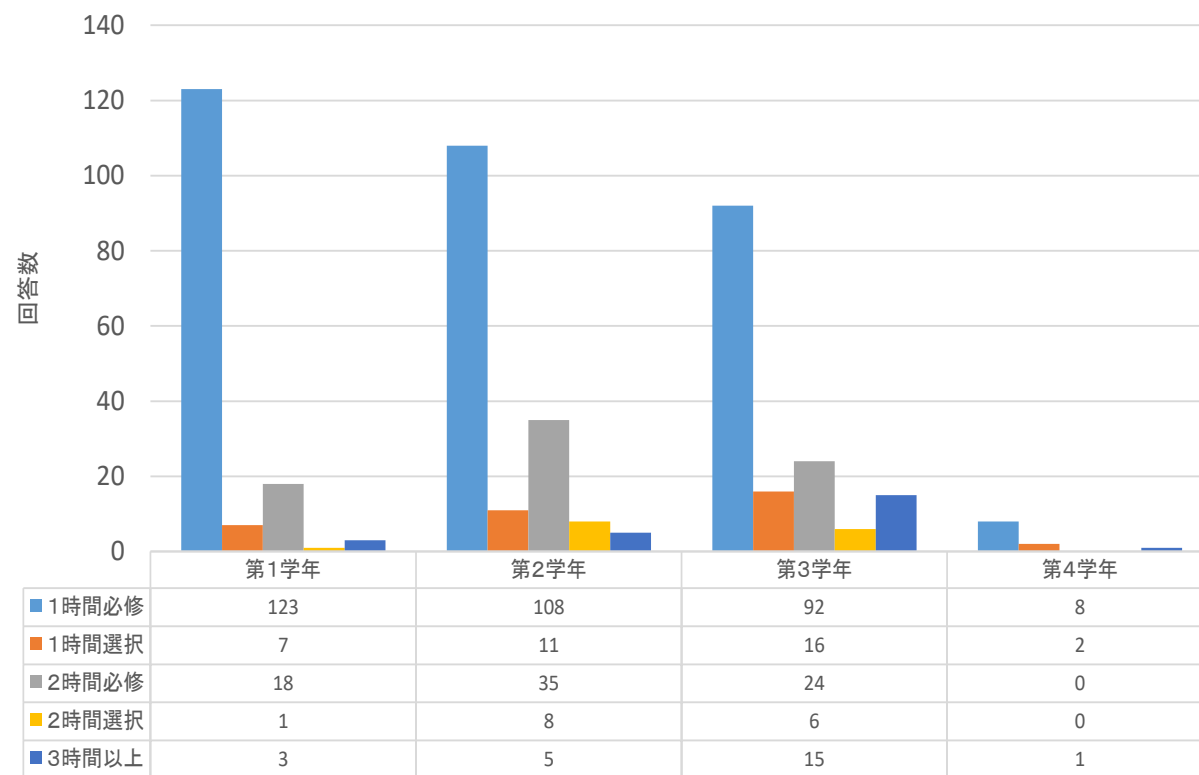
理数の「課題研究」の週あたりの実施時間数



「課題研究」を実施している学校で、数学的な手法や科学的な手法を用いている学校では1学年に必修で1単位で実施している学校が多い。

54 「総合的な探究の時間」で行う「課題研究」の週あたりの実施時間数をお答えください。実施時間数は生徒が授業時間割内で探究活動や課題研究などの探究学習を履修することのできる最大時数を答えてください。当てはまらない場合は「なし」としてください。

総合的な探究の時間での「課題研究」の週あたりの実施時間数



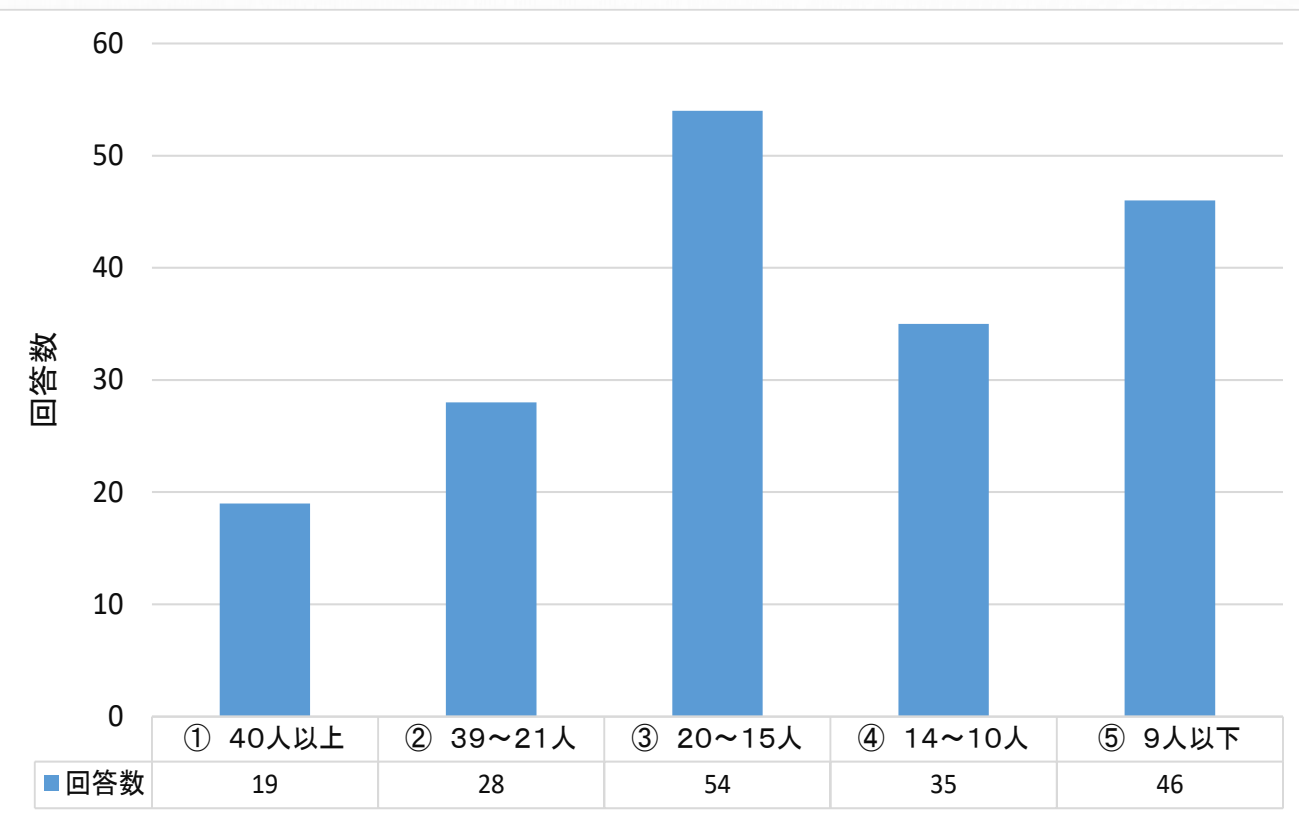
「総合的な探究の時間」で「課題研究」を実施している学校では、1学年と2学年に1単位必修で実施している学校が多い。

# 報告の流れ

- 序章 調査の概要
- 第1章 具体的な取組の現状
- 第2章 教育課程に関する調査結果
- 第3章 先生方の思い



56 「理数探究」を担当している先生に伺います。「課題研究」で教員1人が一度に受け持つ生徒の人数は平均何人ですか。



57 「理数探究」を担当している先生に伺います。「課題研究」で教員1人が一度に受け持つ生徒の理想的な人数は何人ですか。



「課題研究」を受け持っている生徒の実際的人数と、理想の人数にはずれがあることが示唆される。理想の人数は5名程度であるが、実際には15～20人前後の生徒を受け持っている。

「課題研究」を指導する教員の数が足りないという記述がも多く見られる。

# 今後の課題

- 理科機器の充実
- ICT活用のための環境整備
- 探究活動に関する人材育成
- 探究の指導についての情報共有と研修の在り方



ご協力ありがとうございました。